

## 2025年度 二チキッズ郡山エスパル保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年2月2日（月）～3月20日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月21日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	全職員が園の保育理念を深く理解し、個々の子どもの個性と発達段階を尊重した関わりを意識した。ありのままの姿をどんな時でも受け入れることを伝え続け、子ども自身が大切にされていると感じ安心して過ごせる場を提供できるよう意識した。
子どもの発達援助	各クラスの細かな計画に基づき、全職員で話し合いや意見交換を密に行い、個々のありのままの姿を受け止め、大切にすることができた。また、異年齢児交流を通して、社会性や協調性についても考えることができた。
保護者に対する支援	登園降園時の積極的なコミュニケーションや子育ての悩みに寄り添い、改善策を提案して真摯な姿勢を示した。また、日常の様子を丁寧に伝え合い、共有し喜び合うことで信頼関係が深まるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	園内研修の充実を図り、意見交換やコミュニケーションを大切に話し合える場を多く設けた。職員全員で協力して子ども一人一人と向き合い、園内研修や話し合いでの共通理解を実践へと活かした。

総評
自園ならではの行事や郡山駅やエスパルとのイベントや散歩コース、地域の方とのふれあいや小規模保育園ならではのアットホームな安心感のある雰囲気を含め、一人一人と丁寧にじっくりと向き合いながらありのままの姿を受け入れ、大切にされていることを伝え続けた。子どもも職員も安心して楽しく通える保育園を目指し、現在の問題点に適した研修をじっくり行い、ディスカッションの場を多く設けて学びを深め、保育の質の向上に努めた。引き続き、自園の強みをより強いものにしながら、子どもたちがありのままの姿でその子らしくのびのびと過ごせるよう、園全体で協力をしながら保護者とともに応援をしていく。